

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	TERPNET 2015 (カナダ・バンクーバー)
演題名	Functional analyses of dehydrogenases involved in momilactones biosynthesis in rice
発表者	○ <u>Koji Miyamoto</u> , Morifumi Hasegawa, Tomonobu Toyomasu, <u>Hisakazu Yamane</u> , Okada Kazunori (植物化学研究室)
内容	イネの主要な防御応答である抗菌性二次代謝物質（ファイトアレキシン）の生合成酵素の機能について報告を行った。我々はこれまでにイネの代表的なファイトアレキシンの1つであるモミラクトンAの合成の最終段階を担う脱水素酵素OsMAS1を同定している。本発表においては、OsMAS1ホモログであるOsMAS2, OsMAS-Lを単離し、その機能解析を行った。さらに、他の植物におけるホモログとの系統学的な解析から、本酵素の進化についても議論を行った。なあ、本発表は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」による支援を受けて行った。
関連画像	 <p style="text-align: center;">学会が行われたブリティッシュコロンビア大学の構内</p>